

# 長野県

(長野地区)

## 飯綱町におけるIPM技術を導入したカラーピーマンの減農薬栽培 ～飯綱町カラーピーマン研究会の取組～

### 【1. 概要】

- ・天敵、防虫ネット、黄色LED等を導入し地域慣行農薬散布の5割削減を達成
- ・町内では6名の生産者が22aを栽培、23年度収量2.2tから27年度は6.5tまで増加
- ・研修会、巡回検討会(年4回)を開催し、複合品目として確立



図1. 黄色LEDの点灯の様子  
(栽培施設の外から)



図2. 巡回検討会の様子

【問い合わせ先】  
長野農業改良普及センター  
地域第一係  
電話：026-234-9515

### 【2. 実践内容】

#### (1) 取り組みの背景、経緯

- ・同町の主力品目である果樹(りんご)の複合経営品目として導入した
- ・平成22年度から生協との契約出荷に取り組み、年度ごとに導入技術を増やし、減農薬体系を確立した
- ・栽培施設の防虫ネット展張、天敵の導入、オオタバコガ対策の黄色LEDの導入により、農薬使用量について地域慣行の5割以上を削減した(図1)

#### (2) 普及拡大に向けたポイント、成功要因

- ・ほ場ごとに害虫の発生状況を調査し、ほ場ごとの特性を把握した(図2)
- ・県野菜花き試験場と連携し、そのほ場に適した天敵を選定・導入した
- ・施設内の状況把握の徹底と耕種的防除を実施し、薬剤散布を削減した

### 【3. IPMの推進による効果、得られた経験】

- ・複合経営における農薬散布労力が大幅に削減でき、体力的、精神的負担が軽減されるため、研究会員への波及は早かった
- ・収穫果実品質は慣行栽培と同様で、安心、安全を前面に出した有利販売が可能
- ・IPMと減肥の取組を進め、県知事が認証している「信州の環境にやさしい農産物認証」の取得を目指し、更なる有利販売につなげる